

# 真にセーフティネット機能を果たすことができる 最低賃金制度の確立を!

6月16日、政府は「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」を閣議決定し、賃上げの裾野を広げ、金融資産所得を高めて「分厚い中間層」をつくらんと訴えました。

中小企業に賃上げを促すため、賃上げ企業を税制や補助金で優遇し、最低賃金を2023年に全国加重平均で1000円に引き上げる目標を打ち出し、赤字法人の賃上げ促進へ税制などを検討するとの方向性が示されています。

また、中小は原材料高に加え、賃金など労務費の価格転嫁も課題となっていることから、年内に転嫁に関する政府指針をまとめるとしました。

**政府「骨太の方針」を閣議決定**

## 最低賃金の大幅な引き上げを 早期実現しよう!

**地方審議会の自主性確保と早期発効を!**

連合北海道は6月8日、北海道労働局に対し「2023年度北海道最低賃金改正等に関する要請」を行い、15日から始まる北海道地方最低賃金審議会(以下、最賃審議会)において、最低賃金法の原則や目安制度に基づいた自主性を最大限発揮できる審議会運営と、地域間格差の縮小に向けた審議を求めました。

連合北海道最賃対策委員会の森下委員長(連合北海道副会長)は、エネルギー関係や食品の度重なる値上げなどで今年4月の実質賃金が13カ月連続で減少し家計に大きな影響が出ていることに触れながら、「最低賃金は労働者のセーフティネット。生活の安定には、最

低賃金を昨年以上に大幅に引き上げ、底上げをすることが重要だ」と挨拶し、北海道労働局の高橋労働基準部長に要請書を手渡しました。

要請を受けた高橋労働基準部長は、「最低賃金は公労使の議論が前提ではあるが、労働局には事務局として果たすべき役割がある」と丁寧な審議会運営について述べたほか、助成金の活用促進や特定最賃への取り組み、広大な北海道における監督行政の課題について触れ、労働局の使命について考えを示しました。

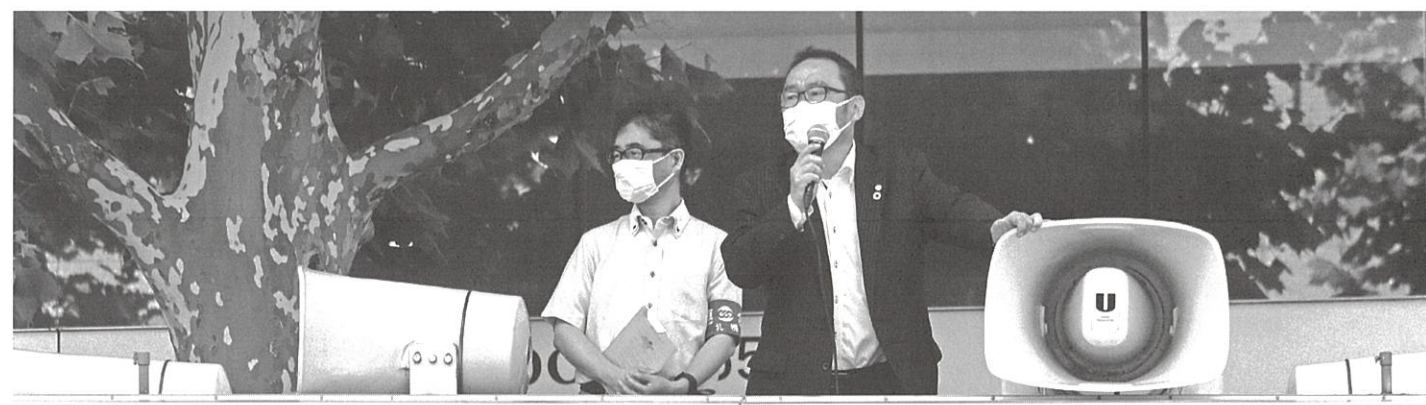
北海道の最賃審議会は、6月15日に第1回目が開催され、中央最賃審議会より目安が示される7月下旬以降は、北海道における最低賃金について公労使3者の熱い議論が繰り返されます。



札幌地区連合四役による、昨年の札幌市への政策要求申し入れ

連合北海道は5月24日(水)、第2回政策委員会を開催し、2024年度政府予算及び道政に対する「要求と提言」原案をまとめ、各組織におけるアンケート調査等、成案作成に向け取り組みを開始しました。札幌地区連合も6月28日(水)に政策委員会を開催し、札幌市に対する「2024年度予算編成へ向けた政策要求」を取りまとめへ向け、取り組みを進めていくことを確認し、政策実現に向けた北海道、札幌といった地域の動きも始まりました。

**働く者・生活者本位の政策実現へ!**  
連合北海道、札幌地区連合も始動



有期・短時間・契約等で働く人が  
安心して生活できる最低賃金水準を!

**誰もが時給1,000円へ!**



連合北海道・連合石狩地域協議会



### 北海道労働者福祉協議会石狩ブロック(石狩ブロック労福協)第22回定期総会

**日時** 2023年7月31日(月) 18時15分～  
**場所** センチュリーロイヤルホテル 20階「グレイス」 札幌市中央区北5条西5丁目

**内容** ◎2022年度活動報告、会計報告、会計監査報告  
◎2023年度活動方針(案)、予算(案)、役員体制(案)

### 連合北海道札幌地区連合会ホームページ



労働相談ホットライン  
フリーダイヤル いこうよ れんごうに  
☎0120-154-052

QRコードで速報をチェック!

<https://rengo-sapporo.jp/>



札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル2階  
編集発行人 野宮 佳則 ☎210-0505  
2023年7月5日 459号  
連合北海道札幌地区連合会